

1 2 各系のFD活動について（2025年度）

1 2 - 1 機械工学系

2025年度 機械工学系 FD 活動報告

機械工学系では、継続的なFD活動の取り組みを続けている。2025年度の主な取り組みは以下である。

1. JABEE 関連活動

年度の初めに系会議時に、昨年度の教育状況およびJABEE関連活動の取り組み状況について確認し、系内の全教員で情報共有した。そして、系内に設けているプログラム統括委員会と5つのワークグループ(WG)からなる点検組織のメンバーの更新を行った。継続的な取り組みが停滞なく為されていることを確認するために、各WG主査より全体会議において、各WGの活動の方針・内容が報告された。その報告に基づいて、情報収集、改善点等の相談等を行った。

2. コース教務検討委員会の実施

前期と後期の講義期間が終了した後に定期的な機会を設けている。修士特別研究の中間報告会や最終審査会、2年次プロジェクト研究成果報告会等の各コースで行う教育活動の後に、必要に応じて各コースを構成する教員が集まり、各講義担当教員が評価を終了した講義について、授業アンケート結果等を参考に、その結果や講義方法等についての課題点や改善を試みた点などを報告している。授業の問題点・工夫改善点、成績評価結果、その他等について情報交換を行うことで更なる改善に繋がっている。若手教員に対しては、講義や実験実習における困りごとに対してのベテラン教員がアドバイスするなどコース単位で教員全体の指導力向上にも努めている。

3. カリキュラム改編検討WG

講義内容の一層の高度化と広く分野を横断する講義科目などを設けるために、2025年度は特に学内改編を見据えた機械工学のカリキュラムについて議論を進めている。各担当科目でグループ分けを行い、グループで主担当を設置して話合っている。ここでは、本学特有事項である高専編入生への教育を念頭において、高専で既に学んだ事項を基礎として、大学で学ぶべき、より専門的な内容とそれを効果的に学べる学習順番などを検討した。グループ主担当が集まり、具体的なカリキュラム案を作成した。新しいカリキュラム編成を考えるこれらの活動は、各教員の教育意識の向上にも繋がっている。

4. FD 講演会、授業参観等への参加

海外の大学教授や研究者等の訪問があった際には、積極的に講演会を開き、海外での研究教育活動に関するFDとしている。系として特に参加の指定や義務付けは行っていないが、数多くあるFD関連行事の中から、例えば、授業参観等を教員が主体的に選択して参加している。系長、教務委員などが、FD参加を推奨・斡旋することもあって、年間3回以上当該活動を実施するという系内での目標は、多くの教員が達成できている。

5. 教育貢献賞受賞者の選出方法

系内における教育貢献賞の選出方法は以下の通りである。

- (1) 前年度の教育領域全体の評価が S の者
- (2) 2 コマ以上の講義・演習を担当している者
- (3) 前年度の授業評価アンケート結果の「授業の総合評価の評価点」の平均点（アンケート回答者数の重み付平均）の最上位者
- (4) 受賞後 5 年間は選出対象から除外する

2025 年度は学生のアンケートの提出率が増加した。